

2014年10月24日 市民活動各論 第6回（中京大学）

担当 滝 栄一

参加 37名

滝 市民活動各論第6回目の担当の滝栄一といいます。この回からは、れいちえるとかわびーも所属するNIEDの研究員が、担当者の活動を通じて持続可能な暮らしを考えます。わたしはNIEDの理事と名古屋NGOセンターの連携推進をしています。今日は、名古屋NGOセンターのTPPへの取り組みを通じて、持続可能な暮らしについて考えます。

今日もグループワークですすめていきます。全体で9つのグループを作りたいと思います。今日、何時に起きましたか？わたしは6時半に起きたんですけど、寝たのは朝の5時くらい。今日の準備に手間取って、夜を明かしてしまいました。ということで、朝何時に起きたかで、早く起きた順にずーっと並んでください。

起床時間は、朝4時から午後1時まで。

並んだ順に、1から9まで番号を言って、同じ番号で分かれる。



滝 ちゃんとグループになりましたね。グループごとに自己紹介をしてください。自分のことを20の文章にして、相手に伝えます。わたしの場合は、

会社員です

NIEDの理事です。

名古屋NGOセンターの連携担当です。

国際教育ファシリテーターと自負しています。

建設的な話し合いが大好きです。

お調子者です。

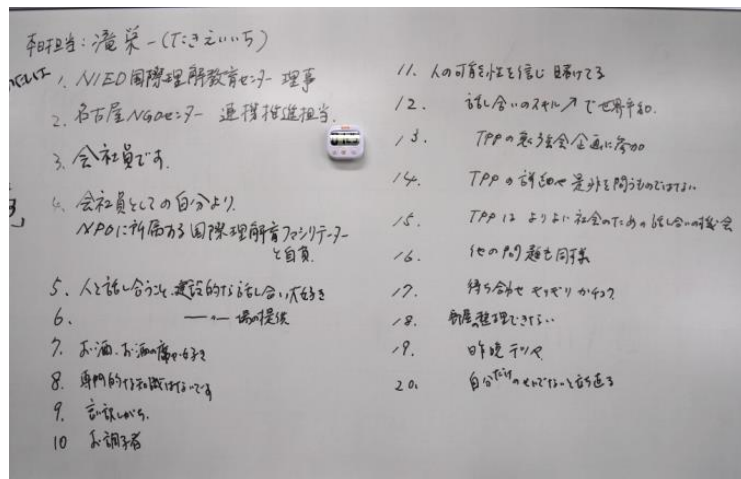
待ち合わせの時間にぎりぎり

りか少し遅れてしまうタイプです。

...

という感じになにかにひっかければ次々に出てくると思います。今日のテーマはTPPですが、専門的な話はあまり知りません。でも、知る価値があると思って、名古屋NGOセンターで自主勉強会を開いています。

では、それぞれ20の文章を作ってください。



滝 今書いている自分を示すための文章は、グループの中で回します。ただ回し読みするんじゃなくて、簡単だけど、ちょっと作業をしながら回し読みします。人のを読んで、「それいいな」と思ったらハート・マーク、「自分と同じだ」と思ったら星マークをつけてください。



滝 わたしを示す 20 の文章を共有して、グループで感想を話し合いました。どうでしたか？

まさかの出身が一緒で、埼玉だった
おばあちゃんの家への旅行がうらやましかった
共感してくれる人が多くてうれしかった

滝 今 20 の文章を書いてもらいました。この時間が始まるにあたって、ちょっと自分がどんな人か確認してみました。書いたものはまたあとで使いますので、とっておいてください。

TPP の詳細とか是非を話すわけではないのですが、わかってないと話し合いになりません。TPP というのは環太平洋戦略的経済協定だったかな。それが新たに決まるとちょっとどうなるのかな、と。農業関係が反対しているというのは聞いていると思いますが、他にどんな影響があるのかな、と、2 年位前に NGO センターで勉強を始めました。その最初の資料を印刷してきました。それをお配りします。

資料 1 TPP の基礎知識 (A3 表裏印刷。パウポ 22 枚分)

滝 まずずーっと読んでもらって、気になったところにマークをしてください。

滝 まだ読めていない人がいるかもしれませんが、もうひとつ資料を渡します。今度の資料は、地球の課題について書いてあります。

資料 2 地球の課題 (A3 表裏印刷。パウポ 14 枚分)

滝 TPP が地球の課題とどのように関連しているかを考えながら読んでください。

滝 地球の課題が、TPP やグローバル化と関連していると思ったら、そこにマークをしてください。5分とります。

滝 ひととおりは目を通したという感じでいいですかね。細かい字をずっと読んでばかりで、お疲れさまでした。いろいろわからないところもあったと思うんですが、読んでみた感想をグループで話してください。話し合いの最後に、感想と持続可能な暮らしがどう関連するかを話してください。また5分とりましょう。

滝 感想のシェアタイムの5分が終わりました。もう5分時間を作りますので、グループで話し合ったことが持続可能な暮らしとどう関連するかを話してください。

滝 今話し合ったことを1点に絞って、「われわれの話したお題はこんなことだった」というのを、裏紙に書いてください。3分でお願いします。

滝 じゃあ、書いたことを発表してください。

- 5 原産地を表記しないのはこわい。地産地消したい。
- 1 自給自足。食料だけでなく木材とかも。
- 3 自給率。
- 8 南北問題。
- 6 ブロック経済。
- 4 CO2の排出量。
- 9 衛生植物検疫。残留農薬。
- 7 CO2排出量。
- 2 二酸化炭素の排出量。

滝 付け足すことがありますか？後半は、それに対して、どんな取り組みがあるかに関して、話していきます。今から、10分休憩です。

15時05分から休憩

15時15分、再開。

資料3 グローバルな視点を活かした地域づくり（抜粋）（A4で2ページ印刷1枚）

滝 資料を配布しました。これは TPP のパワポの入門編を作った神田さんが書いたもので、地球の課題に対しての捉え方やご自身の取り組みが紹介されています。京都生まれで、ODA でアフリカの農村開発にたずさわって、今は垂井に住んでいます。そこで NPO を運営し、外務省の ODA の見直しにも市民として関わっています。これも読んで、共感するところとところにマークしてください。

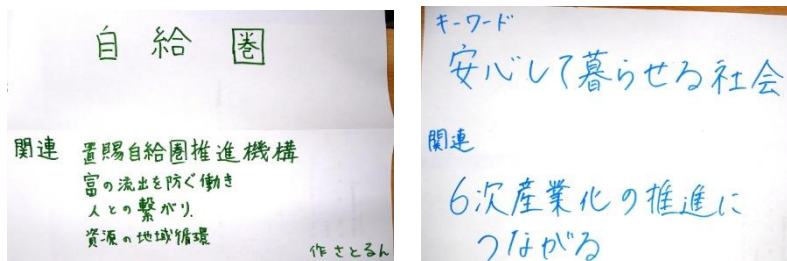
滝 次の資料を配ります。地球の課題に対する各地の事例や名古屋 NGO センターの取り組みが書いてあります。これについても、いいなと思ったり、共感したところにマークしてください。これを配り終わってから、5 分とりましょう。

資料 4 各地の事例 (A4 で 2 ページ印刷、裏表)

滝 5 分立ちました。まだ時間がほしい人はいますか？じゃあ、マークしたところをグループでつきあわせて、感想を話してください。5 分とりましょう。

滝 みなさんひととおりの感想を話せたでしょうかね。話し合った感想などから、みんなの共通点はなんだったか、とか、キーワードはなんだったか、とか、持続可能な暮らしとの関連はなにか、とか、グループで話し合ってください。

滝 次の話し合ったことを紙に落とす作業です。模造紙を切つてとか思ったんですが、切る時間ももったいないので、裏紙に書いてください。キーワードと関連を書いてください。あとで、他のグループのを見て回るので、きれいに書いてください。



滝 グループの机の上に、今書いた共通点またはキーワードと持続可能な暮らしとの関連が見えるようにしてもらって、他の 8 つのグループを見て回ってください。そういう視点があったのか、とか、これは発見だな、とか、いいね、ということがあれば、メモしてください。5 分作りましょうか。ペンとメモ用紙を持って、見て回ってください。

共通点
循環
関連
里山暮らし
自給自足
豊かな生活
再利用

<CO2について>
・経済的に発展している国は、人あたりのCO2排出量が多。
・TPPが運用されるようになれば、さらにその格差は広がる?

<キーワード> 自然との共生
<持続可能な暮らしとの関連>
・地産地消
・昔からの伝統を守り、次世代に伝える。

幸せと思えること

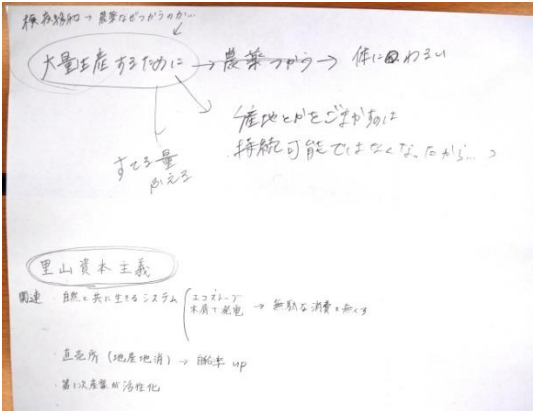
人とのつながり
自給自足
笑顔

キーワード
お金に換算できない
大切なもの

関連
新しいものを追い求める
のではなく、今ある資本を
生かす。

人、地域の
つながり
・循環型
・おすそ分け
・直売所
・自然
・都会と田舎

生産過剰
↓
買わない……私達
売らない……お店
つくらない……企業



滝 4時を過ぎまして、これからの時間は終盤です。TPPの勉強会の情報を提供させていただいて、そこから皆さんが考えた持続可能な暮らしが机の上にあります。他のチームの持続可能な暮らしに関するメモをみなさんが持っています。循環型社会とか、資源をたいせつにするといったことを、みなさん、書いていました。

最初に書いた20のわたしをもう1度見直してみてください。みなさん自身を持続可能な暮らしのたいせつな資源と考えて、見直してください。ネガティブな表現をしてあったら、書きなおしてください。

わたしの場合だったら、「待ち合わせの時間ぎりぎり」というのを、「時間を有効に使う」と言い直せるかもしれません。2分くらいとりましょうかね。

滝 最後の作業です。みんなで話し合った感想と持続可能な暮らしとの関連と、20のわたしのふたつをネタにして、持続可能な暮らしと自分との関連を自己紹介として書いてください。書いたものは、グループで、ひとり1分で発表します。

滝 では、持続可能な暮らしとわたし、という 1 分間スピーチをしてください。傾聴です。
聞いている方のルールは、
相手の心に寄り添って
質問はしないで
全身で共感して
聴く。です。スピーチの順番を決めてください。では、スタート。



滝 今日のことをきっかけにして、少しでも持続可能な暮らしについて考えが深まればいいと思いました。ひとりで考えることに重点を置きましたが、次回からグループで考える機会もあると思います。ありがとうございました。

ふりかえりシート

- ① わかったこと（気づき・目からうろこ）
- ② 「持続可能な暮らし」を考える上でヒントになりそうなこと（箇条書き程度）
- ③ 今日の授業の感想や担当者へのメッセージなど

学生 1

- ① 自分の感情、例えば幸せとかは大切なんだなと思った。人とのつながりがないと社会は成立しない。地域の方々のありがたさに気づいた。
- ② お金に換算できない大切なもの→今あるものをどのように生かすかが Point!!
- ③ 持続可能な暮らしって深いなと思った。考えれば考えるほど、新しいものが浮かぶ。今、このときを大切にしようと思った。

学生 2

- ① TPP が関税撤廃以外の意味があることを初めて知った。まだまだ知らないことが多いと感じた。
- ② 当たり前であることを当たり前だ感じてはいけない。田舎での生活を見習う。
- ③ 「持続可能な生活」をするには自分自身の努力が大切であると感じた。自分を 20 の文で表すのは難しかった。

学生 3

- ① お金に換算できない大切なものがある
- ② 新しいものを追い求めるのではなく、今ある資本を生かす。
- ③ 今までとは違い資料が多く自分の力でやらなければいけないというところにやりがいがあった。

学生 4

- ① 先生の話はちゃんと聞かないといけないと思った。
- ② 里山のような巡る社会。
- ③ 先生の話をよく聞こうと思った。

学生 5

- ① 持続可能な暮らしはあらゆる場面から考えることができる。
- ② 6次産業の推進。
- ③ TPP などテーマが難しかったが TPP はデメリットも多いということを知ることができた。

学生 6

- ① 日本の森林率は高いけれど、年間の伐採量がとても低いことに驚いた。持続可能な暮ら

しに近づけるには、まず自分たちでつくりあげていくことが大切だと思った。

- ② 自給自足をしていくこと。人とのつながりを大切にすること。
- ③ 持続可能な暮らしを考えたときに、一番最初に実家のことを思い出した。実家では、野菜やお米を自分たちの畑で作り、それを近隣の人と分け合って、人とのつながりを大切にしていると感じた。だから、人とのつながりは今後も大事にしていきたいと思った。

学生 7

- ① 里山暮らしはとてものびのびと暮らせそう。TPP の問題点について。日本の森林と農業の現状。
- ② 循環型社会。身のたけに合った生活。地産地消。無駄なものは買わない（貿易においても）。
- ③ TPP の問題についてわかりやすい資料を読んで知れました。問題点ばかり今回はあげられていたけれど、推進派はなぜ TPP に入りたいのか理由が気になりました。

学生 8

- ① TPP の問題とか、今の環境問題は何かしらつながるところがあって、大きな問題だけれど、まず必要なのは自分たち自身の意識の変化や行動の変化であるということがわかった。
- ② 自給自足。地域、人とのつながり。お金を使わない暮らし。
- ③ TPP については難しかったけど、“らしさ”を生かした地域づくりから持続可能性を広げたいと思いました。

学生 9

- ① TPP について改めて資料を読むと、メリットがほとんどないのだなと感じた。私について考えることが持続可能な暮らしへつながることに驚いた。
- ② 自然との共生。地産地消。
- ③ 今日のテーマに TPP が取り上げられたのは驚きでしたが、TPP のデメリットが持続可能な暮らしを妨げるものと共通しているものが多く、持続可能な暮らしを学ぶ立場としては、TPP に参加すべきではないと思いました。

学生 10

- ① TPP とは、今まで詳しく知らなかったけれど、今日の学びで幅広い分野についての問題ということを知って、私たちの生活にも直接影響が出そうなことばかりで、無関心では

いられないと思った。

- ② 循環型の生活。地域のつながり。
- ③ 今までTPPから目を背けていたけれど、今日の授業を通して、少し向き合えたと思った。知ったからには、行動にうつしていかないと意味がないので、自分が出ることから始めたいと思った。

学生 11

- ① 「持続可能な暮らし」を考えるために、普段ふれない資料を提供してもらい、曖昧な視点からではなく具体的な視点から「持続可能な暮らし」を考えることができた。
- ② 自給自足。人とのつながり。支援。
- ③ グループワーク形式なんだから、もっともっと自分から積極的に発言していくべきだったなと感じた。

学生 12

- ① 私は〇〇です。で最初に何気なく書いた文章が、後に持続可能な暮らしにつながることでできたことには驚いた。ネガティブなことも、とらえ様によっては長所に変えることができることもわかった。
- ② 自分が好きなこと、やりたいことをして、心を豊かにする。食べ物の有り難みにふれる。
- ③ 都会にいても田舎にいても、その人の価値観によって豊かさの度合いも変わるのかなと思った。持続可能な社会も実現できる気がした！

学生 13

- ① 里山での生活が持続可能な生活につながっていることや、自分がどういう生活をしているのかに気づくことができた。
- ② 今の自分の生活の1つ1つについて考える。
- ③ 自分について考えることが苦手だと感じてしまった。しかしそれはあまり、自分のことを分かっていないことであり、良くないことだと思うので、もっと自分を見つめてみようと思う。

学生 14

- ① TPPによって貧困が拡大したり、南北問題が続いてしまったりと、逆に悪いことが起こってしまうのだと知った。
- ② 人々とのふれあい。
- ③ 私を示す20の文章で一目持続可能な暮らしに関わりないと思うものも、深く考えていけばつながると分かりました。

学生 15

- ① TPP のような国際的な事柄を焦点にし、自分たちが持続可能な社会を形成するため何をしたいか、何ができるかが少しわかった気がする。
- ② 里山資本主義。循環型社会。自然。
- ③ あまり話し合いに参加できなかったことが心残り。

学生 16

- ① 「わたし」という観点から持続可能な暮らしを考えることで、自分がどうすべきか、何ができるかということイメージするきっかけになった。
- ② 里山の生活を参考に。都会でもできる里山生活。
- ③ 自分と持続可能な暮らしの関係を楽しく考えることができた。

学生 17

- ① 今まで TPP という言葉は聞いたことがあったけれど内容はよく知らなかった。今日の講義で難しかったけれど前よりは理解できた。
- ② 自給自足で食糧自給率アップ。更に健康に！笑顔で毎日を楽しむ。
- ③ 「私は…です」20 コ考えるのは意外と難しかったけれど、自分ってこんな人なんだ！と振り返れて面白かった。

学生 18

- ① TPP について。日本の自給率はだんだん減ってきている。
- ② 自給自足。地産地消。6 次産業化。
- ③ TPP は名前を聞いたことがあるくらいで詳しいことを分かっていたいなかったが、プリントを読んであまり良いことばかりではないのだなと思った。

学生 19

- ① 里山資本主義という今求められている暮らしが昔から今まで続いており、日本にあるということ。
- ② 今ある暮らしに必要なモノを持続可能なモノに置き換える
- ③ TPP は経済だけの話だと思って遠ざけていたけれど、環境問題や社会問題に直結するのであれば、社会全体で私たち 1 人 1 人が考えなくてはならないと思った。

学生 20

- ① 里山主義の生活がすごくいいなと思った。自分の生活から見つめ直していかないといけない。TPP のことを今まであまり知らなかったのが今日知ることができて良かったし、これからもニュースなどやっていたら見てみたいと思った。

- ② 循環型社会の形成。
- ③ グループの話し合いの場で、自分の意見とみんなの意見を合わせて深めることができたので良かった。

学生 21

- ① 里山資本主義の考え方。TPP のデメリット。
- ② 自然と共に生きる大切さ。
- ③ TPP のプリントにデメリットばかり載っていたので、できればメリットも知りたかった。

学生 22

- ① TPP というものを知らなかったので知れて良かった。日本はどんどん外国に食料や木材を頼るようになるのか。持続可能な暮らしは身近なことから考える。
- ② 幸せと感じる人それぞれの価値観／自給自足／循環／あるもので何とかしようとする気持ち。
- ③ TPP のデメリットをたくさん知れて、次はメリットも知りたと思いました。自分にとっても関係あるのに TPP というものを知らない自分が少し恥ずかしいです。

学生 23

- ① TPP のことを知って、デメリットが多く存在すると知った。しかし、どのようなメリットがあるのかも知りたいと思った。
- ② 循環型社会／地産地消。
- ③ 私の住んでいる地域はとても田舎なので、里山の資料を読んだときにとっても共感できる部分があり、面白かったです。

学生 24

- ① TPP が格差問題とも関連しているということ。
- ② スローライフ／資源の無駄遣いを減らす。
- ③ TPP の問題が持続可能な暮らしに関連していることを知れて、良かったと感じました。

学生 25

- ① TPP 問題から、持続可能な社会を考える上で多くの情報を得られることが分かった。
- ② 地産地消／里山などの豊かな生活
- ③ TPP に関して少し知識を得ることができた。

学生 26

- ① 改めて都会すぎる暮らしじゃなくて里山のような田舎で生活してみたいと思った。心に余裕のある生活を送りたいです。

- ② 笑顔！／おすそわけ！
- ③ TPPの話とかは授業などでしか耳にしないので、自分からニュースなどを見て積極的に情報収集しようと思いました。

学生 27

- ① 友達同士で自己紹介をすることで新しい自分を見つけることができた！
- ② 身近なことでできる削減がたくさんあるということ。
- ③ 追求することで深い授業になれたと思う。

学生 28

- ① 中国は人口が多いから二酸化炭素の排出量が多い。しかし、1人当たりの二酸化炭素排出量は、比較的少ない。グループで話し合った結果、貧富の差があるからという事になった。
- ② TPP（加盟国のみが持続可能）／食糧自給率を上げる。
- ③ 今まで TPP という言葉しか知らなくて、その意味を理解できていませんでした。今回の授業で一部分だけれど、TPPの事を知れて、少し大人になった気がしました。日頃からニュース等をチェックしないとなど、感じました。

学生 29

- ① 域内で生産し域内で消費をすると、域内だけで暮らしていける。(当たり前ですが)自分たちでアクションを起こせば何かが起こる。公聴会とかは積極的に行うべき。
- ② 市民生活を守る後ろ盾に大切な資源、価値が眠り、大切な資本が得られる。圏内依存による雇用の創出。
- ③ 今回は自分を見返して暮らしを探りましたが、よくよく考えれば自分でも何かできるのではないかと感じた。

学生 30

- ① 自分たちは何かを楽しむとき何かしら資源を消費している。
- ② 大型ショッピングモールは持続可能な暮らしに反している。
- ③ 自分たちは、大量の資源を消費しながら生活していることを改めて感じた。

学生 31

- ① 持続可能な社会は循環型の暮らしをすることでつながっていくことが分かった。TPPから持続可能な暮らしはつなげて考えることができるのは意外だった。持続可能な社会はもっと幅広く考えることができると分かった。
- ② 里山暮らし／循環／人とのつながり。

- ③ 持続可能な暮らしについて、いろんな所でさまざまな取り組みが行われていることが分かりました。里山暮らしは確かに持続可能な社会につながるけれど、もう里山にできない所はどうしていけばいいのだろうと疑問に思いました。

学生 32

- ① 自分はどういう人間かということを書き出したとき、マイナスなことがいくつか出たけど、それを幸せと思えるようにするにはどうしたらよいかと考えたとき、人とのつながりが欠かせないことに気づいた。
- ② 自給自足／幸せと思える暮らし。
- ③ TPP について、もっと知りたくなったので自分なりに調べてみたいと思いました。

学生 33

- ① TPP ってよく耳していた用語だけど、今日で何故参加するのだろうと思った。
- ② 自然が豊富な土地で生活／自然を中心とした循環型の社会生活。
- ③ 自分で簡単にできるのはリサイクルとかだけど、それは自分ができる範囲のことで、実際に里山で過ごすとなると難しいのかなと思った。一部ではやっているかもしれないが、都市などの中心となる地域が変わらないと根本的な問題の解決にはならないと思った。

学生 34

- ① TPP についての反対意見やデメリットが多くあることを知り、さらに深く考えてみたいと思った。持続可能な暮らしをしていくために、自給自足から循環型社会を広げていけば、真の豊かさが見えてくるのではないかと思った。
- ② 自給自足／循環型社会／人とのつながり。
- ③ TPP についてまだまだ理解できなかったことや知らないことがたくさんあったので、さらに深く勉強していけたらいいと思いました。

学生 35

- ① 私たちは、消費よりも生産が多く、それも莫大な量を生産し、消費しきれなかったものを捨てるというもったいないことをしているのに気づきました。
- ② 無駄・余分に生産しないようにする／もっと自給自足をし、人に頼らない生活をする。
- ③ 班の話し合いがとても為になりました。生産しすぎないように企業が気づいてくれるといいです。

学生 36

- ① TPP のデメリットについてよく分かった。今日の資料を見たところ、あまり TPP が良いものだと感じられなかったが、今後メリットについても知りたいと思った。

- ② 幸せと思える暮らし／安心／今あるものを生かす／生産過剰。
- ③ 自然が豊かな地域では、里山資本主義のような生活が営めるかもしれないが、都会の方ではどのような形で持続可能な暮らしができるのか気になった。

学生 37

- ① 持続可能な暮らしと自分の共通点を見つけることができた。
- ② 自給自足／自給圏／循環型社会。
- ③ にわかな知識しかなかった TPP についての課題を簡単にではあったが、知ることができて良かった。